脱IT初心者「社長の疑問・用語解説」（第43回）

SSDにLLサイズ登場

2021.06.30

技術革新とともに次々に登場するIT用語。社員に言われても、何のことかよく分からない。そんなIT初心者の社長にも、分かりやすく理解できるようにITキーワードを解説する本連載。今回は、聞いたことはなくても、もしかしたらすでに使っているかもしれない「SSD」（エスエスディー）だ。

「社長が今使っているノートパソコンが古くなったので、SSD搭載のノートパソコンに買い換えましょう」（総務兼IT担当者）

「何？SS？パソコンにもサイズがあるのか？LLのほうが何となく安心するが、小さいのはいいかもしれん」（社長）

「SとかMとかLとかのサイズではありません。SSD。パソコンに内蔵されている記憶装置のことですよ。データの読み書きが速くなったり、消費電力が少なくなったり、いろいろなメリットがあるんです」

「SSサイズの小さいパソコンが読み書きしてくれるのか。ワシも小さいときからひらがなの読み書きができて、神童といわれたこともあったな」

「確かにSSDは小さいんですが、SSはサイズの略ではないんです。神童なら分かってくれそうなもんだけどなあ……」

手軽になったSSD搭載パソコン

SSD（ソリッドステートドライブ）はフラッシュメモリーと呼ばれる半導体を用いた記憶装置です。SSは決してSSサイズの略ではありません。パソコンの記憶装置は、これまでHDD（ハードディスクドライブ）がおなじみでした。HDDは磁気の駆動装置を利用してデータを記録します。一方、SSDには駆動装置がありません。ソリッドステート（駆動しない固体状態）の記憶装置なのです。近年はSSDの低価格化が進み、薄型ノートパソコンやタブレットなどに搭載されています。

SSDとHDDの違い

	SSD	HDD
容量単価	高い	安い
耐衝撃性	優れる	SSDに比べて弱い
読み書き	速い	SSDに比べて遅い

※SSDとHDDを比較した表現です。HDDの性能が劣っているわけではありません。

Q SSDのメリットを教えてください… 続きを読む